

わくわく地域連携教育だより

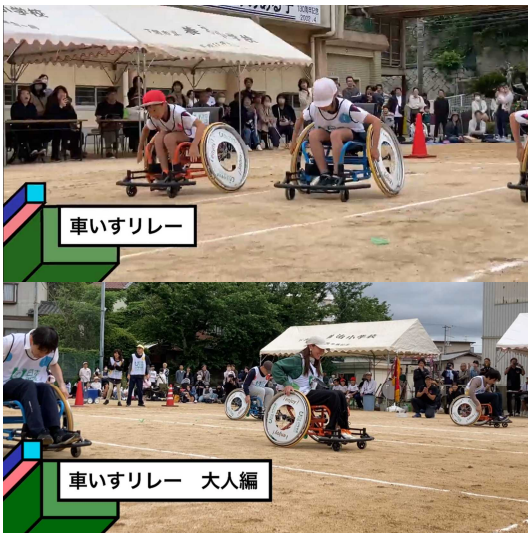
下関市教育委員会
令和8年3月27日
ホームページ
にも掲載



令和6年10月に日本財団パラスポーツサポートセンターから下関市へ、運動場でも体育館でも走行できるスポーツ・アクティビティ用車いす「パラサポ！ミライ」が贈呈されました。「パラサポ！ミライ」は、タイヤを前後の車軸に付け替えることで、主に屋内でのアクティビティに活用できる「バスケットボールポジション」と、前のフレームを伸ばして全長を長くすることで屋外、土の上でも直進しやすくする「リレーポジション」を1台で使い分けることができます。転倒防止キャスターがあり、安全面の配慮もされています。下関市社会福祉協議会の協力を得て「福祉プラザしもものせき（上田中町）」に保管され、学校や一般に貸出を行っています。

て全長を長くすることで屋外、土の上でも直進しやすくする「リレーポジション」を1台で使い分けることができます。転倒防止キャスターがあり、安全面の配慮もされています。下関市社会福祉協議会の協力を得て「福祉プラザしもものせき（上田中町）」に保管され、学校や一般に貸出を行っています。

養治小学校での活用事例 パラサポ！インクルーシブ運動会



「すべての子供たちが運動会を楽しみ、輝けるチャンスをつくりたい。運動会を通じて多様性を考えるきっかけにしてもらいたい。」そんな思いから生まれたのが「パラサポ！インクルーシブ運動会」です。令和7年5月に、養治小学校でパラサポ！インクルーシブ運動会が行われ、子供・大人の車いすリレーが行われました。ぜひ、紹介動画（2分24秒）を二次元コードから読み取ってご覧ください。



紹介動画
(2分24秒)

江浦小学校での活用事例 総合的な学習の時間・体育等での活用



総合的な学習の時間は、横断的・総合的な学習を通して、課題を解決し、自己の生き方を考える力を育成することを目標にしています。江浦小学校の4年生は、共生社会の実現に向けて“インクルーシブ～はじめの第一歩～”と題して、江浦小学校区を誰もが楽しく気持ちよく過ごせる町にしたいと学びを深めました。机上の学習だけではなく、パラアスリートの出前講座を体験し、今度は、学んだことを自分たちが住む地域や保護者に伝えたいという思いから江浦小インクルーシブ運動会を企画しました。「パラサポ！ミライ」が10台あるからこそ子供たちの体験と学びの場が広がっています。

【お問い合わせ先】
教育委員会 生涯学習課
パラサポ！ミライ担当
083-231-7968